平成29年度　アートチャイルドケア札幌元町保育所自己評価

　保育の向上を図るために、アンケートの実施、第三者評価を実施するとともに保育所の自己評価を行いました。

１．　保育理念：安全・安心・安定した保育を行います。
「生きる力」を伸ばす保育を行います。
地域社会との共存を大切にした保育を行います。

＊職員には、入社時および各研修などで、アートチャイルドケアの保育理念について伝えています。
＊入園時に、重要事項説明書にて口頭説明を行っています。また、玄関掲示しています。

２．　個人情報保護

＊守秘義務の周知徹底に努めると共に、書類等の個人情報に関わるものに関しては、鍵のかかる場所に保管しています。
＊園内研修などで守秘義務について職員に周知しています。

３．　保育計画

＊保育所保育指針に基づき、保育課程、年間保育計画、月案、週案、日案を作成しています。
＊短期、長期の振り返りを行い、個々の成長にあった支援を考えた立案を行っています。
＊アンケート等での保護者の声や前年度の反省を踏まえ、行事の見直し改善を行ってきましたが、まだ不十分な点があり、今後の課題です。

４．　保育内容

＊読み聞かせ、リトミック（リズム遊びなど）、体操など様々な活動をとり入れ、年間通して、表現活動を行っています。また、３歳児クラスから、鍵盤ハーモニカをとり入れ、楽器への興味関心がもてるようにしています。発表会では、各年齢に合わせた、取り組みを発表できました。
＊春先から、お散歩の距離を少しずつ延ばし、乳児は歩行の自立、幼児は、交通ルールを学びながら、基本的体力をつけ、運動会で走る、跳ぶなど全身をつかった競技に挑戦しています。
＊食育活動として、２歳児から、野菜の栽培を行い、育てることの喜びや、収穫までの期待感を大切にしながら、活動しています。また、収穫した野菜は、給食メニューとして提供しています。
＊遊びや生活を通して、子ども同士の関わりが増え、その中で、社会性が育つように保育者が仲立ちとなったり、時には子ども同士で解決していくように見守っています。

5.　虐待の予防

＊保育士による虐待が行われないように、園内研修を行い、防止に努めています。
＊感情的になり不適切な対応をとっている職員がいた場合は、声をかけあい、適切な支援が出来るように努めています。まだ不十分な点はありますが、職員ひとりひとりが意識して保育を行っています。

6.　特別な支援を要する場合

＊一人ひとりの発達状況に配慮した指導計画を作成しています。
専門機関、保護者と連携をとりながら個々にあった保育を行います。

7.　保護者支援

＊年数回のアンケートを行い改善の努力をしています。また、年２回の運営委員会を開きその中で、意見交換を行っています。
＊保護者の思いを理解するよう努め、丁寧に対応するように心がけています。

8.　地域との連携

＊七夕まつりで、近隣の方に、お神輿を担いで練り歩くお知らせをしています。当日は、沿道に出て応援してくれる方が増えてきています。
＊幼保小の連携会議に出席し、小学校に向けての情報交流を行っています。

9.　食育

＊園で収穫した野菜を使ったメニューやランチバイキングなどの実施で、自分の好きな物、食べれる量を理解したり、食への意欲を高める工夫をしています。
＊アレルギーの対応は、トレイや食器の個別化を徹底し、ダブルチェックで誤食がないように努めています。除去食メニューは、保護者との確認を行っています。

〇今後の課題

　開園３年目となり、保育の内容が充実するように取り組んできました。
積み重ねてきた事を大切にしながら、更に出来る事も増えてきました。
行事内容としては、まだ不十分な点はありますが、改善できる部分は、工夫していきたいと思います。
　地域との連携の部分が弱く、今後は３期の卒園児を出していることもあり、小学校との連携も含めて地域開放も考えていきたいと思っています。